

クマガイソウ ラン科

Cypripedium japonicum Thunb.

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧 類 (VU)

選定理由 減少顕著，生育環境悪化，採取圧，局限・孤立，希少性。

生態・形態 ブナ帯域のやや明るい樹林内に群生する大形の多年生ラン科草本。地下茎は横走，茎には粗毛，高さ20～40cm。葉は2個，大形の扇形，茎頂に対生，長さ約20cm，放射状の葉脈が顕著なひだとなり，下面は微白毛が密生，波状歯縁。花は6～7月，1個，淡白黄緑色，紅紫色脈，大形の袋状唇弁が特徴的，横向きにぶら下がるように咲く。和名は袋状唇弁の形態を熊谷直実がまとった母衣（ほろ）に見立てたもの。

分布 北海道，本州，四国，九州。

（県内）若桜町，智頭町。

保護上の留意点 嚴重な採取防止。やや明るい林内環境の保全が必要。他のラン類と同様，ラン科植物は実生での繁殖は自然の中でもきわめて困難，多量の個体群を残す必要がある。

